



## 2011年度第3四半期 連結業績の概要

経理部長  
高原 宏

2012年2月1日

武田薬品工業株式会社

## 2011年度 第3四半期 連結業績の概要



	10年度	11年度	対前期増減		為替影響
	4-12月実績 億円	4-12月実績 億円	億円	(%)	億円
売上高	10,811	11,276	+ 465	< +4.3	△ 373
売上総利益	8,464	8,226	△ 238	< △2.8	△ 372
特殊要因除き *1	8,464	8,568	+ 103	< +1.2	△ 372
一般管理販売費	3,239	3,678	+ 439	< +13.6	△ 169
特殊要因除き *2	2,737	3,057	+ 321	< +11.7	△ 125
研究開発費	1,900	1,897	△ 3	< △0.1	△ 85
営業利益	3,325	2,650	△ 675	< △20.3	△ 117
特殊要因除き *3	3,830	3,615	△ 214	< △5.6	△ 161
経常利益	3,365	2,651	△ 714	< △21.2	△ 118
特別利益	—	176	+ 176	—	—
純利益	2,155	1,606	△ 549	< △25.5	△ 66
特別損益、特殊要因除き *3	2,511	2,203	△ 308	< △12.3	△ 97
<b>E P S</b>	272.99円	203.46円	△69.53円	< △25.5	
特別損益、特殊要因除き *3	318.15円	279.07円	△39.08円	< △12.3	
為替レート	USD 87円	79円	△ 8円		
	EUR 113円	111円	△ 3円		

\*1 Nycomed買収に伴い発生した無形資産のステップアップ(時価評価による増加部分)に係る償却費を控えています。

\*2 企業買収などに関する無形固定資産償却費、のれん償却費を控えています。

\*3 企業買収などに関する無形固定資産償却費、のれん償却費、無形資産のステップアップ(時価評価による増加部分)に係る償却費の影響を控えています。

## 対前期増減の内訳

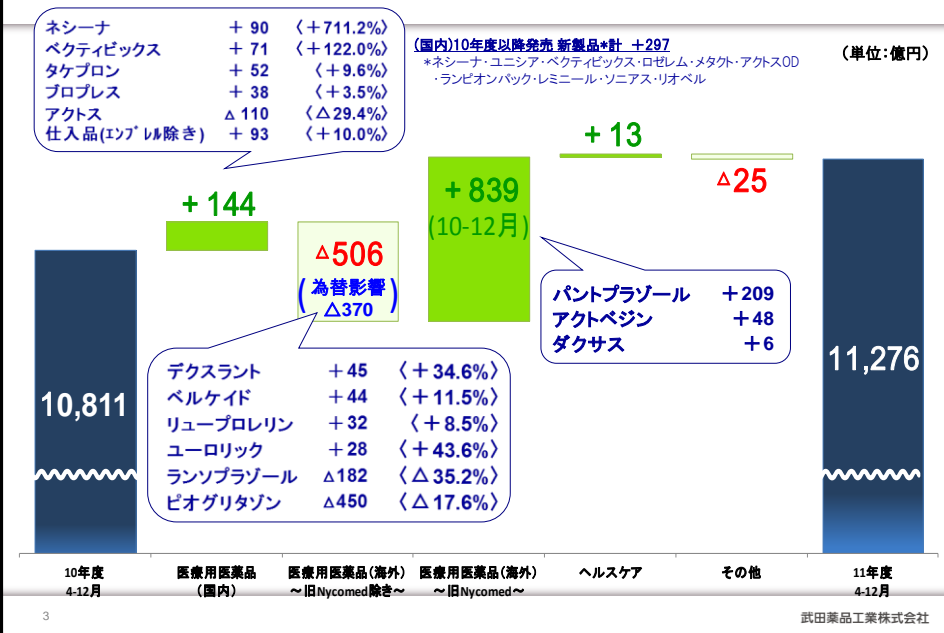


	10年度 4-12月実績 (単位:億円)	対前期増減				11年度 4-12月実績
		旧Nycomed除く既存事業 (4-12月)	うち為替影響	旧Nycomed (10-12月)	Nycomed 企業結合会計*4 (10-12月)	
売上高	10,811	△ 374	△ 373	+ 839	-	11,276
売上総利益	8,464	△ 475	△ 372	+ 581	△ 344	8,226
特殊要因除き*1	8,464	△ 475	△ 372	+ 581	△ 3	8,568
一般管理販売費	3,239	△ 97	△ 169	+ 373	+ 163	3,678
特殊要因除き*2	2,737	△ 53	△ 125	+ 373	+ 1	3,057
研究開発費	1,900	△ 55	△ 85	+ 49	+ 3	1,897
営業利益	3,325	△ 322	△ 117	+ 158	△ 511	2,650
特殊要因除き*3	3,830	△ 366	△ 161	+ 158	△ 7	3,615
経常利益	3,365	△ 385	△ 118	+ 182	△ 511	2,651
特別利益	-	+ 176	-	-	-	176
純利益	2,155	△ 313	△ 66	+ 148	△ 384	1,606
特別損益、特殊要因除き*3	2,511	△ 452	△ 97	+ 148	△ 5	2,203

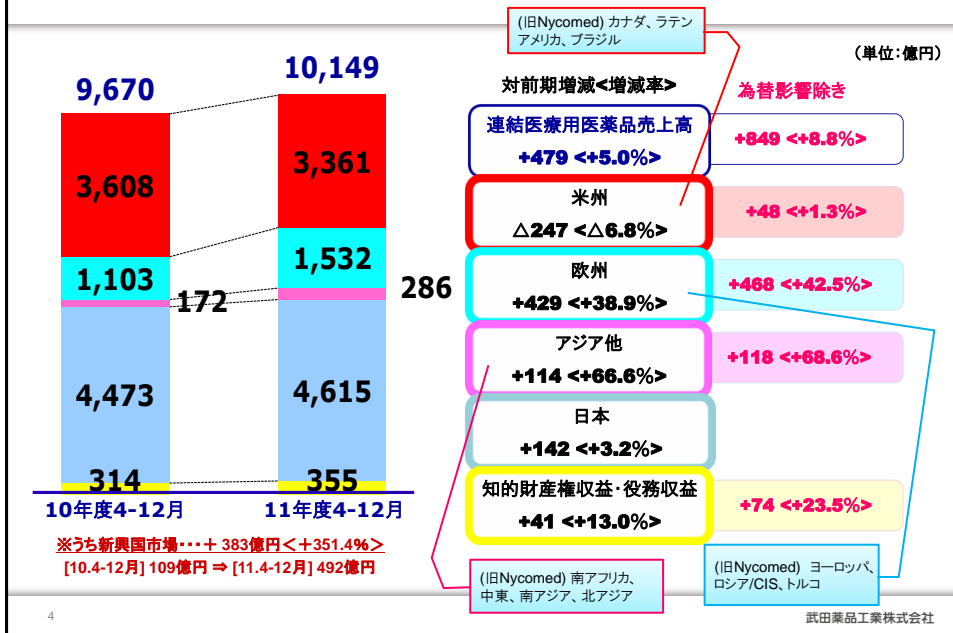
\*1 Nycomed商標に伴い発生した無形資産のステップアップ(時価評価による増加部分)に係る償却費を認めています。  
 \*2 企業買収などに起因する無形固定資産償却費、のれん償却費を認めています。  
 \*3 企業買収などに起因する無形固定資産償却費、のれん償却費、無形資産のステップアップ(時価評価による増加部分)に係る償却費の影響を認めています。  
 \*4 当社による買収以前にNycomedが保有していた無形固定資産にかかる償却費も含めております。  
 \*5 TAP、シレニアム、JDMの企業買収などに伴う無形固定資産償却費、のれん償却費を特減要因としております。

Nycomedの企業買収に起因する特殊要因 △504億円  
 ✓ 棚卸資産の時価評価による増加部分に係る償却費(売上原価) △342億円  
 ✓ 無形固定資産償却費(一般管理販売費) △120億円  
 ✓ のれんの償却費(一般管理販売費) △43億円

## 売上高の増減内訳【セグメント別】



## 連結医療用医薬品売上高【地域別】



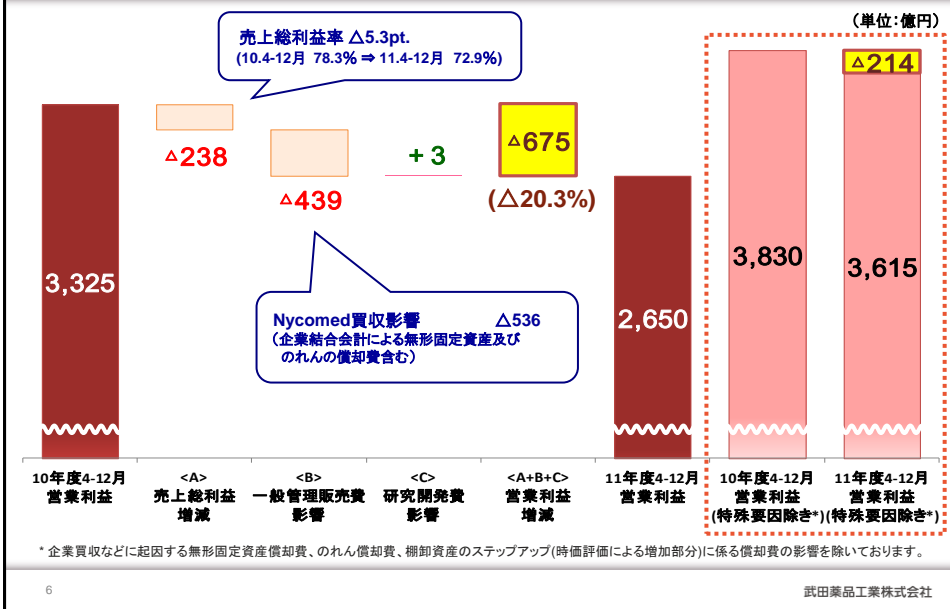
## 主要製品の状況



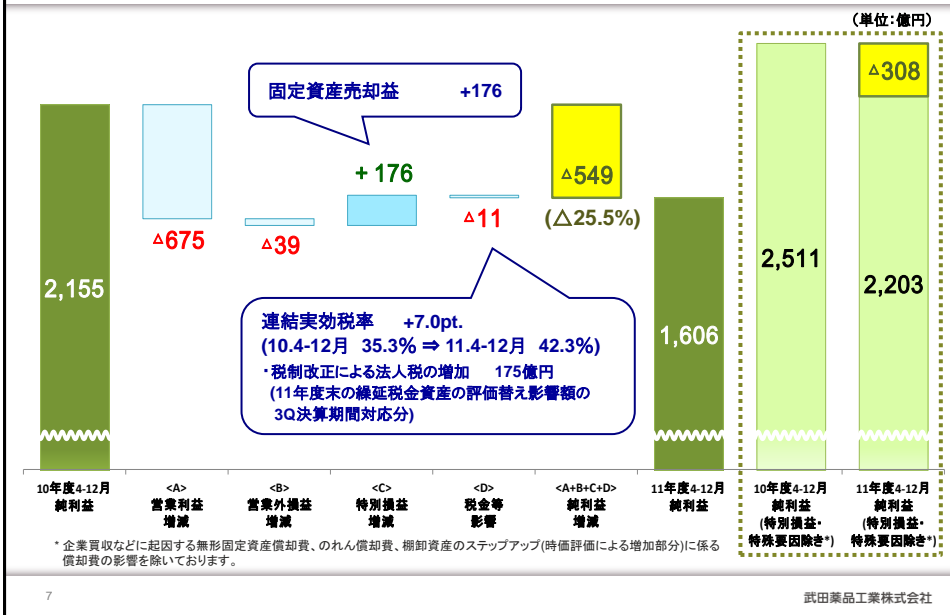
	10年度 4-12月 億円	11年度 4-12月 億円	対前期増減		地域別増減(億円)			
					日本	米州	欧州	アジア他
ピオグリタゾン (国内製品名:アクトス)	2,930	2,370	△560	<△19.1>	△110	△358	△93	+1
<米国現地売上高 \$MM>	<2,633>	<2,442>	[為替影響除き △362]	<△191>	<△7.3>			
カンデサルタン (国内製品名:プロプレス)	1,665	1,688	+23	<+1.4>	+38		海外計	△15
<米国現地売上高 \$MM>	<425>	<225>	[為替影響除き +51]					
ランソプラゾール (国内製品名:タケブロン)	1,059	929	△131	<△12.3>	+52	△192	+4	+5
<米国現地売上高 \$MM>	<425>	<225>	[為替影響除き △110]	<△200>	<△47.0>			
リュープロレリン (国内製品名:リュープリン)	883	928	+45	<+5.1>	+13	+20	+7	+5
<米国現地売上高 \$MM>	<439>	<538>	[為替影響除き +52]					
ベルケイド(米国)	381	425	+44	<+11.5>	-	+44	-	-
<米国現地売上高 \$MM>	<439>	<538>	[為替影響除き +86]	<+99>	<+22.5>			

5 武田薬品工業株式会社

## 営業利益の増減内訳



## 純利益の増減内訳



## キャッシュフローの状況



	10年度 4-12月 (単位: 億円)	11年度 4-12月	(参考)10年度 4-3月
営業活動によるCF	2,083	2,482	3,269
税金等調整前当期純利益	3,365	2,827	3,716
減価償却費(特許権償却費を含む)	655	900	926
のれん償却費	107	141	141
運転資金増減	△312	△301	△92
法人税等の支払額	△1,267	△1,289	△1,418
投資活動によるCF	△935	△10,723	△993
子会社株式の取得による支出	—	△10,314	—
財務活動によるCF	△1,369	4,049	△1,465
短期借入金の純増減額	△1	5,406	△7
配当金の支払額	△1,336	△1,326	△1,421
現金及び現金同等物にかかる換算差額	△737	△699	△609
当期のCF	△958	△4,891	202
現金及び現金同等物期末残高	7,567	3,836	8,727
<b>EBITDA</b>	<b>4,136</b>	<b>3,879</b>	<b>4,841</b>

※ 第3四半期のキャッシュフローは任意開示であり、監査人のレビュー手続きは踏んでおりません。

**11-13中期計画期間の配当支払は1株180円/年を維持**

8

武田薬品工業株式会社

## 2011年度 連結業績予想



為替影響除き △260億円  
・アトスの減収等

(単位: 億円)	11年度 前回(11月)予想	業績変動		11年度 今回予想
			うち為替影響	
売上高	15,400	△ 300	△ 40	15,100
研究開発費	2,950	△ 150	+ 5	2,800
営業利益	2,700	—	+ 35	2,700
経常利益	2,700	—	+ 30	2,700
特別損益	—	△ 244	—	△ 244
純利益	1,700	△ 400	+ 30	1,300
<b>E P S</b>	<b>215.36円</b>	<b>△50.68円</b>		<b>164.68円</b>
為替レート				
USD	77円	+ 1円		78円
EUR	109円	△ 2円		107円

【参考: 為替レート1円変動影響】

	年間	
	USD	EUR
売上高	58 億円	23 億円
営業利益	16 億円	△ 3 億円
純利益	9 億円	△ 5 億円

欧米でのリストラ関係費用 △420億円  
固定資産売却益 +176億円

欧米でのリストラ関係費用 △290億円  
税制改正影響 △200億円  
固定資産売却益 +100億円

9

武田薬品工業株式会社

## 2011年度 10-12月 旧Nycomed社業績概要 【対前期】



	10年度*	11年度	対前期増減	
	10-12月 実績 百万EUR	10-12月 実績 百万EUR	百万EUR	<%>
<b>Total Sales</b>	<b>729</b>	<b>804</b>	+ 75	<+10.3>
EUCAN(欧州、カナダ)	348	352	+ 4	<+1.2>
EMG(新興国)	312	393	+ 81	<+25.8>
Russia/CIS	128	157	+ 29	<+22.6>
Latin America	42	52	+ 10	<+23.6>
Brazil	60	73	+ 12	<+20.3>
META(中東、トルコ、南アフリカ)	37	29	△ 8	<△22.2>
South Asia	30	32	+ 2	<+7.3>
North Asia	14	50	+ 35	<+249.8>
Outlicensing etc	69	59	△ 10	<△14.6>
<b>EBITDA</b>	<b>156</b>	<b>173</b>	+ 17	<+11.1>

\* 買収前のNycomed社(米国皮膚科領域除く)の業績

10

武田薬品工業株式会社



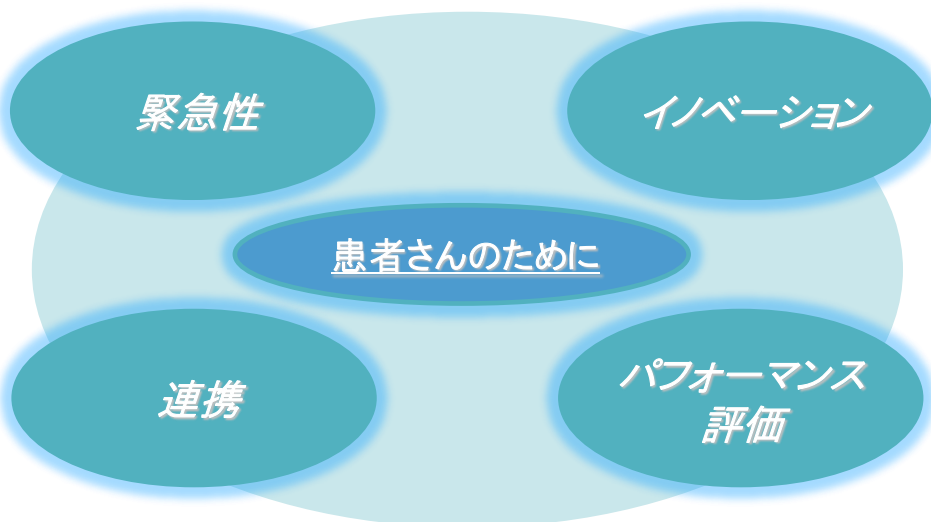
## 2011年度第3四半期 研究開発におけるアップデート

取締役  
チーフ メディカル&サイエンティフィック オフィサー  
山田 忠孝

2012年2月1日

武田薬品工業株式会社

## 研究開発における原則



12

武田薬品工業株式会社

## 研究開発生産性の向上に向けて



intellikine



創薬研究の活性化

臨床中期パイプ  
ラインの強化

臨床後期パイプ  
ラインの価値最大化

### 武田カリフォルニアの設立

- 武田サンディエゴ社(基盤技術)と武田サンフランシスコ社(抗体医薬研究)を融合
- 研究能力の更なる向上

### Intellikine社

- INK128、INK1117を獲得
- 癌領域パイプライン・研究力の強化

### (米国FDA)審査終了目標日

- ネシーナ、ネシーナとアクトスの合剤 - 2012年4月25日
- Peginesatide - 2012年3月27日 (FDA諮問委員会が承認を推奨)

13

武田薬品工業株式会社

## 最近のステージアップ

第2四半期決算発表(2011年11月4日)以降



			Ph1	Ph2	Ph3	申請	承認
VELCADE	皮下投与	米国					2012年1月
AZILVA (TAK-536)	高血圧症	日本					2012年1月
EDARBI (TAK-491)	高血圧症	欧州					2011年12月
EDARBYCLOR (TAK491+CLD)	高血圧症(クロルタリドンとの合剤)	米国					2011年12月
Feraheme	鉄欠乏性貧血	カナダ					2011年12月
SYR-322	糖尿病(メトホルミンとの合剤)	米国				2011年11月	
TAK-491	高血圧症	ブラジル				2011年11月	
TAK-390MR	逆流性食道炎の治療およびその維持療法・非びらん性胃食道逆流症	フィリピン				2011年11月	
TAK-700	前立腺癌	日本					
TAK-361S	百日ぜき、ジフテリア、破傷風、ポリオによる感染症の予防	日本					

14

武田薬品工業株式会社

## 新規パイプライン

第2四半期決算発表(2011年11月4日)以降



			Ph1	Ph2	Ph3	申請	承認
DAXAS*	慢性閉塞性肺疾患	スイス マレーシア ロシア 香港 韓国					2012年1月 2011年9月 2011年8月 2011年7月 2011年5月
		シンガポール 台湾				2011年8月 2011年4月	
Veltuzumab	関節リウマチ	米国 欧州					
MT203	関節リウマチ	米国 欧州					
INK128	進行性固形癌 多発性骨髄腫 ワルデンシュトレーム・マクロ グロブリン血症	-					
INK1117	進行性固形癌	-					

\*DAXASについては、スペースの都合上、全ての情報は記載しておりません。

15

武田薬品工業株式会社

## 有望なパイプライン、成長ドライバーの 確実な承認取得



FY11	FY12	FY13	FY14- FY15
<b>ベルケイド (皮下投与)</b> ・承認されている唯一の プロテアソーム阻害剤	<b>アドセトリス*(SGN-35)</b> ・抗体薬物複合体 ・血液癌 *欧州製品名	<b>Lu AA21004</b> ・多重作用メカニズム型抗うつ薬 ・大うつ病・全般性不安障害	<b>TAK-875</b> ・GPR40作動薬 ・糖尿病
<b>イダービイダーバクロー* (TAK-491)</b> ・アンジオテンシンII受容体拮抗薬 ・より強い効果 *米国製品名	<b>ネシーナ*(SYR-322)</b> ・DPP-4 阻害薬 ・高い選択性 *米国/日本製品名		<b>TAK-700</b> ・17, 20 リアーゼ阻害薬 ・非ステロイド骨格 ・前立腺癌
<b>ダクサス*</b> ・PDE4 阻害薬 ・ファーストインクラスの COPD薬 *欧州製品名	<b>Peginesatide</b> ・ESA製剤(合成) ・1ヶ月製剤 ・腎性貧血		<b>MLN9708</b> ・第2世代のプロテアソーム阻害薬 ・経口投与可能
	<b>デクスラント*(TAK-390MR)</b> ・プロトンポンプ阻害薬 ・デュアル・デュレイド・リリース技術 *米国製品名		<b>ラソナーダ*</b> ・非定型抗うつ薬 *欧州製品名(予定)
			<b>MLN0002</b> ・ヒト化抗 $\alpha 4 \beta 7$ インテグリン モノクローナル抗体
			<b>TAK-438</b> ・P-CAB ・より優れた有効性
			<b>地域限定品目</b>

16

武田薬品工業株式会社

## ピオグリタゾンに関する規制当局の結論



膀胱癌の発症リスクが、わずかに増加する可能性はあるものの、  
ピオグリタゾンは2型糖尿病の治療選択肢として有用である

日本	添付文書改訂	2011年6月
米国	添付文書改訂	2011年8月
欧州	添付文書改訂 欧州委員会が、ピオグリタゾン含有製剤について、欧州医薬品庁の見解(ピオグリタゾンは2型糖尿病の治療選択肢として有用)を承認	2012年1月

17

武田薬品工業株式会社

# ワクチンビジネス部の設立



## ビジョン

- 世界の公衆衛生向上に貢献

## 方針

- ベストインクラスの小児ワクチン・インフルエンザワクチン上市により、日本でのワクチンビジネスを強化
- タケダのグローバルな事業基盤を活用し、既存ワクチンを海外展開
- 新規性の高い小児・成人向けワクチンの強化

## 施策

- 日本におけるs-IPV混合小児ワクチン・細胞培養インフルエンザワクチンの着実な開発
- 特定市場での強固な販売基盤を持つ企業との共同販売
- 革新性の高い製品や新規基盤技術の導入

## 機能

- 事業開発機能
- 事業総括機能
- 研究開発機能

18

武田薬品工業株式会社

## 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の需要が得られない場合などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。



武田薬品工業株式会社